

男女平等参画に関する世論調査<概要>

令和 8 年 3 月

調査実施の概要

1 調査目的

男女平等参画に関する都民の意識等を調査し、今後の男女平等参画施策の基礎資料として活用する。

2 調査項目

- (1) 男女平等参画
- (2) 無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）
- (3) 東京ウィメンズプラザ
- (4) 社会活動・地域活動への参加
- (5) 男女間の暴力
- (6) 男女平等参画社会、女性が活躍できる都市

3 調査設計

- (1) 調査対象：東京都全域に住む満 18 歳以上の男女個人
 - (2) 標本数：4,000 標本
 - (3) 標本抽出方法：住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法
 - (4) 調査方法：郵送法（郵送配布・郵送回収、WEB〔インターネット〕回答併用）
 - (5) 調査期間：令和 7 年 8 月 22 日～9 月 21 日
 - (6) 調査実施機関：一般社団法人輿論科学協会
- （注）「男女平等参画に関する世論調査」（平成 27 年）は 3,000 標本、個別訪問面接聴取法で実施

4 回収結果

- (1) 有効回収標本数（率）：1,615 標本（40.4%）〔うち郵送 839 標本、インターネット 776 標本〕
- (2) 未完了標本数（率）：2,385 標本（59.6%）

調査結果の概要

※ n は質問に対する回答者数で、比率算出の基数を示す。

※ 個々の比率の合計は、全体の計に一致しないことがある。

※ M. A. はいくつでも選択

※ M. T. は回答の合計を n で割り 100 を乗じた数

※ 平成 27 年の調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和 2 年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため、調査結果を単純に比較することはできないので留意が必要

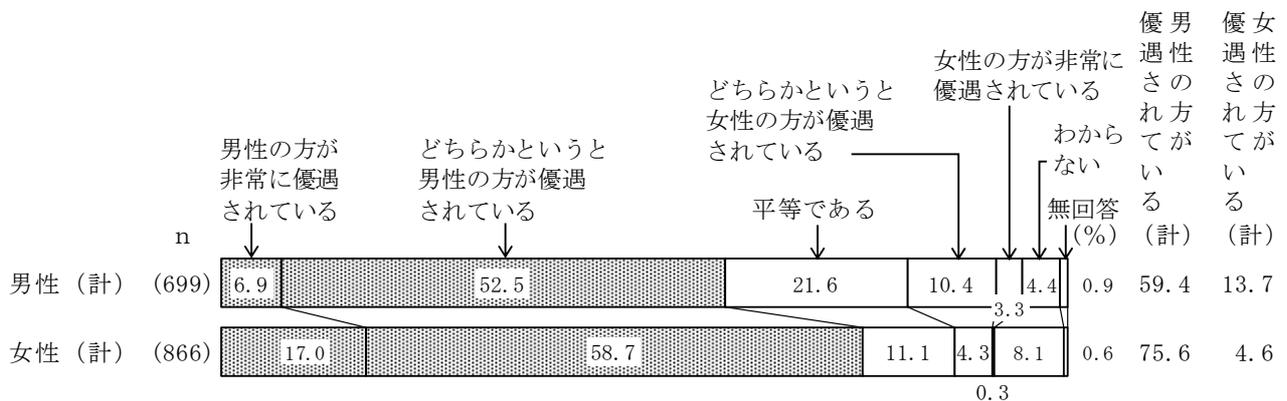
1 男女平等参画

(1) 男女の地位の平等感：男女の地位は平等になっていると思うか 7 つの分野と社会全体について聞いた。

(本文 P 3～ P 30)

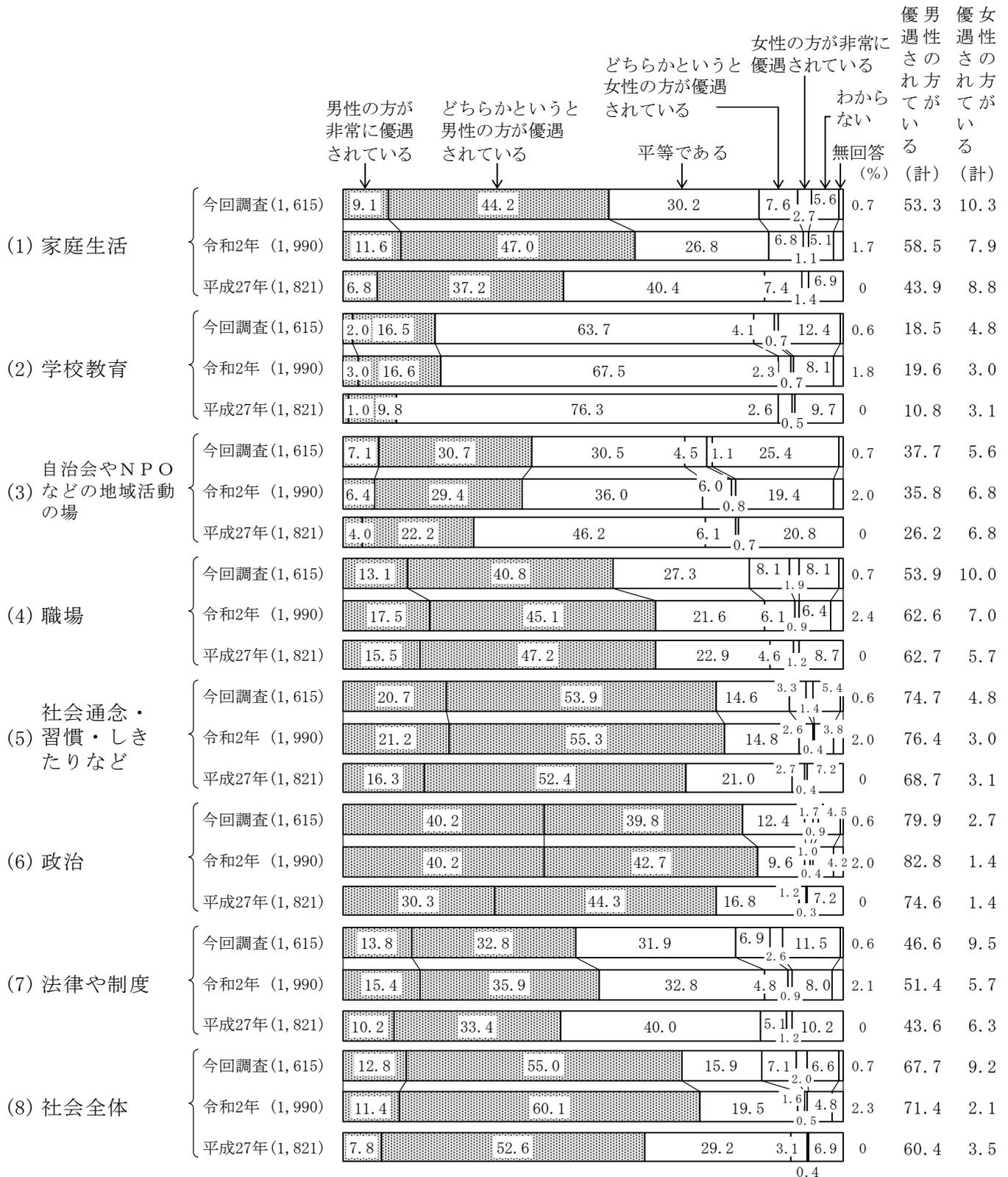
- ・『男性の方が優遇されている（計）』は「政治」が 80% でトップ（令和 2 年より 3 ポイント減少）
- ・「社会通念・習慣・しきたりなど」75%、「職場」54% が続く
- ・「平等である」は「学校教育」が 64% でトップ（令和 2 年より 4 ポイント減少）
- ・「法律や制度」32%、「自治会や NPO などの地域活動の場」31% が続く
- ・『女性の方が優遇されている（計）』は「家庭生活」、「職場」、「法律や制度」10%
- ・社会全体としては『男性の方が優遇されている（計）』68%（令和 2 年より 4 ポイント減少）
- ・「平等である」16%（令和 2 年より 4 ポイント減少）
- ・『女性の方が優遇されている（計）』9%

○男女の地位の平等感（社会全体）



(注) 『男性の方が優遇されている（計）』は「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかという男性の方が優遇されている」の合計

『女性の方が優遇されている（計）』は「女性の方が非常に優遇されている」「どちらかという女性の方が優遇されている」の合計



(注1) 『男性の方が優遇されている(計)』は「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかという男性の方が優遇されている」の合計

『女性の方が優遇されている(計)』は「女性の方が非常に優遇されている」「どちらかという女性の方が優遇されている」の合計

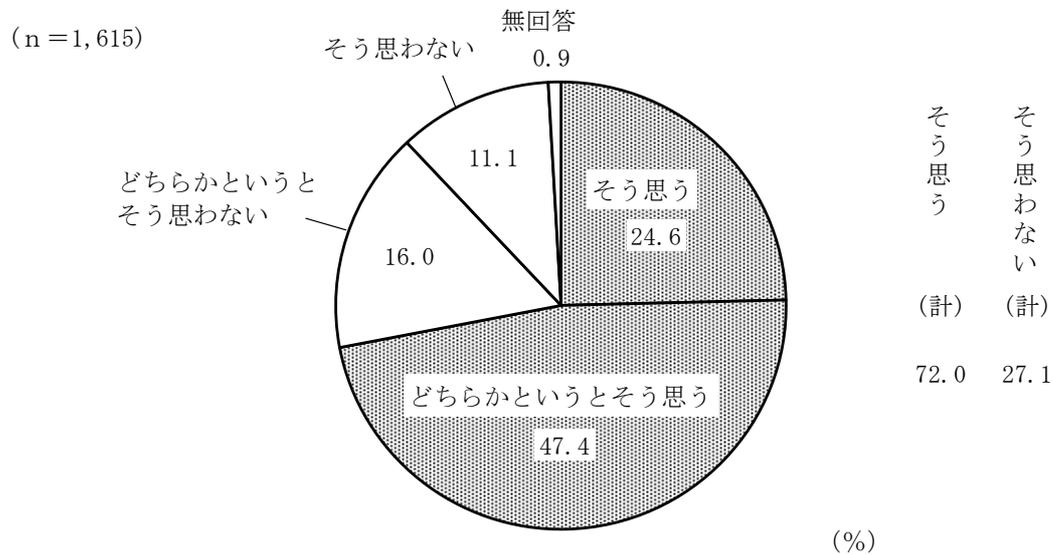
(注2) 令和2年は「男女平等参画に関する世論調査(令和2年11月調査)」

平成27年は「男女平等参画に関する世論調査(平成27年7月調査)」

2 無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）

(1) 「男性だから」「女性だから」と思うことがあるか：「男性だから」「女性だから」と思うことがあるか聞いた。 (本文 P31～P34)

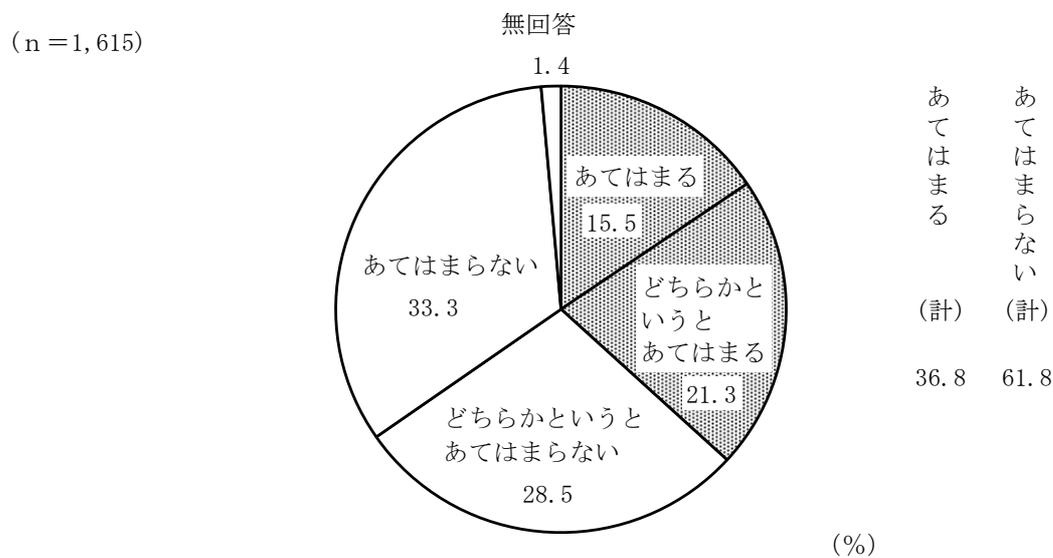
- ・『そう思う（計）』は 72%
- ・『そう思わない（計）』は 27%



(注) 『そう思う（計）』は「そう思う」「どちらかというそう思う」の合計
『そう思わない（計）』は「そう思わない」「どちらかというそう思わない」の合計

(2) 「男性だから」「女性だから」と言われたことがあるか：「男性だから」「女性だから」と周りの人に言われたことがあるか聞いた。 (本文 P35～P38)

- ・『あてはまる（計）』は 37%
- ・『あてはまらない（計）』は 62%

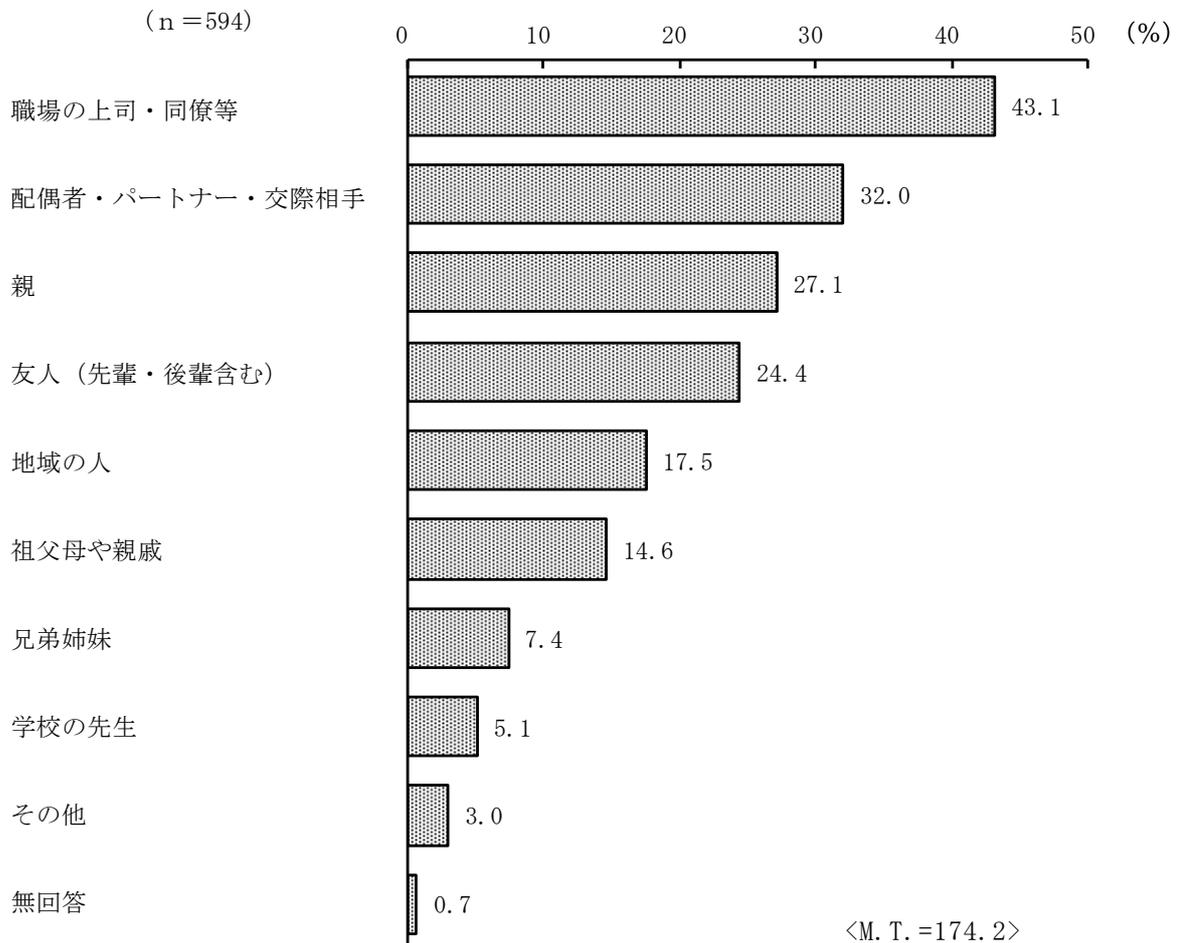


(注) 『あてはまる（計）』は「あてはまる」「どちらかというあてはまる」の合計
『あてはまらない（計）』は「あてはまらない」「どちらかというあてはまらない」の合計

(3) 誰に言われたか：「男性だから」「女性だから」と周りの人に言われたことが『あてはまる（計）』と答えた人（594人）に、誰に言われたか聞いた。（M. A.）

（本文P 39～P 41）

- ・「職場の上司・同僚等」が43%でトップ
- ・「配偶者・パートナー・交際相手」32%、「親」27%が続く

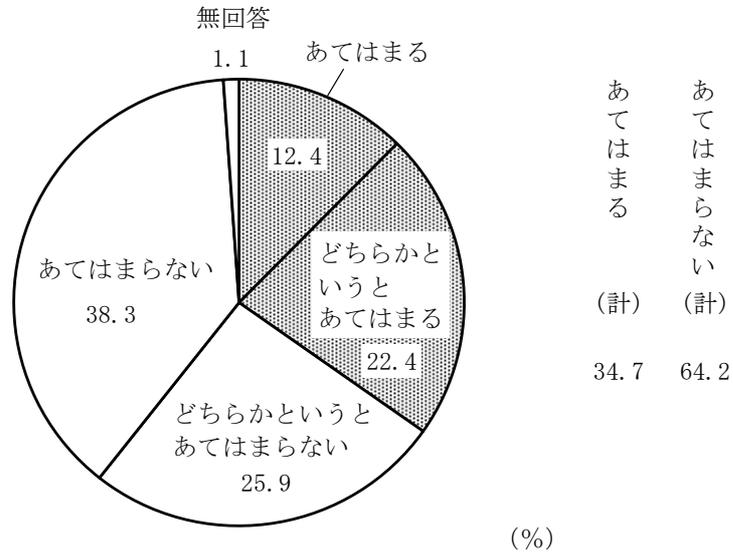


(4) 性別を理由に、思ったことが言えなかったことがあるか：性別を理由に、思ったことが言えなかったことがあるか聞いた。

(本文 P 42～P 45)

- ・『あてはまる (計)』は 35%
- ・『あてはまらない (計)』は 64%

(n=1,615)



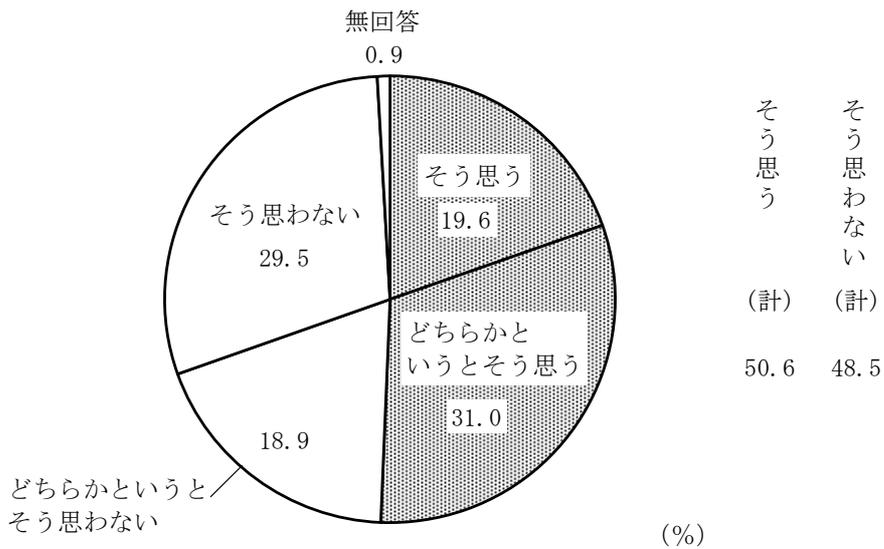
(注) 『あてはまる (計)』は「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の合計
『あてはまらない (計)』は「あてはまらない」「どちらかというにあてはまらない」の合計

(5) 性別で教科の得意、不得意があると思うか：性別で教科の得意、不得意があると思うか聞いた。

(本文 P 46～P 49)

- ・『そう思う (計)』は 51%
- ・『そう思わない (計)』は 49%

(n=1,615)

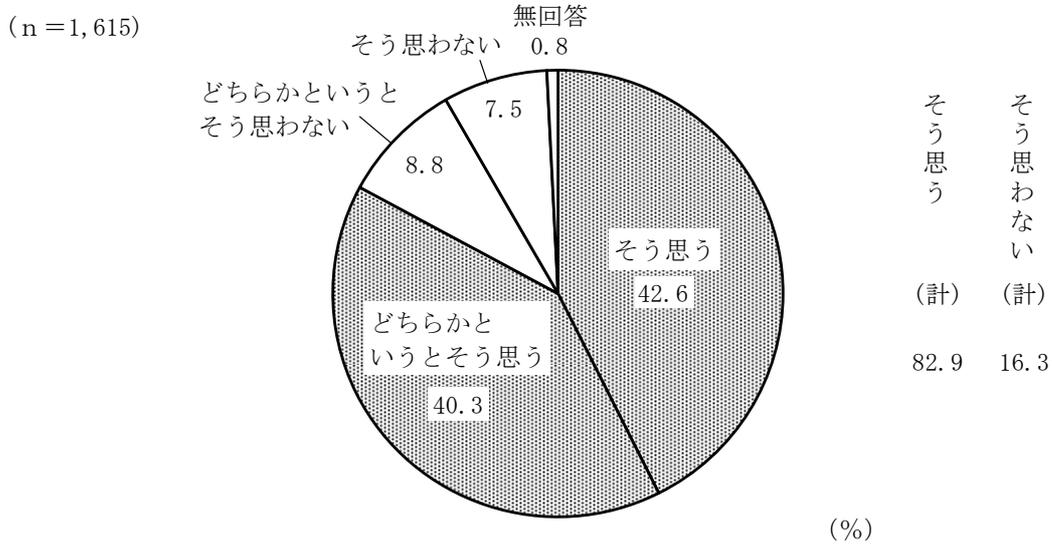


(注) 『そう思う (計)』は「そう思う」「どちらかというように思う」の合計
『そう思わない (計)』は「そう思わない」「どちらかというように思わない」の合計

(6) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思うか：性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思うか聞いた。

(本文P50～P53)

- ・『そう思う (計)』は 83%
- ・『そう思わない (計)』は 16%

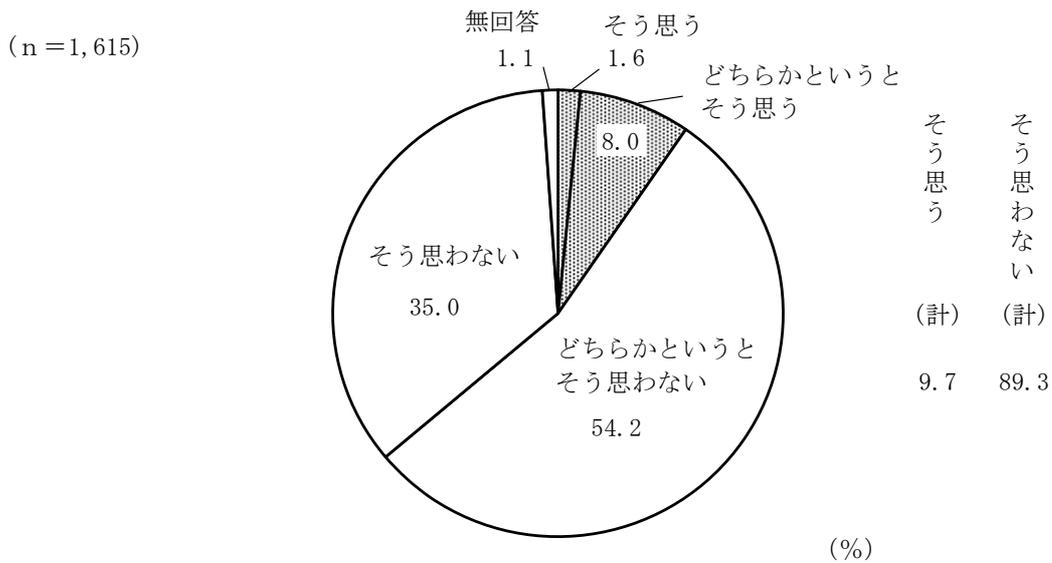


(注) 『そう思う (計)』は「そう思う」「どちらかというと思う」の合計
『そう思わない (計)』は「そう思わない」「どちらかというと思わない」の合計

(7) 家事は男性の方が向いていると思うか：家事は男性の方が向いていると思うか聞いた。

(本文P54～P57)

- ・『そう思う (計)』は 10%
- ・『そう思わない (計)』は 89%



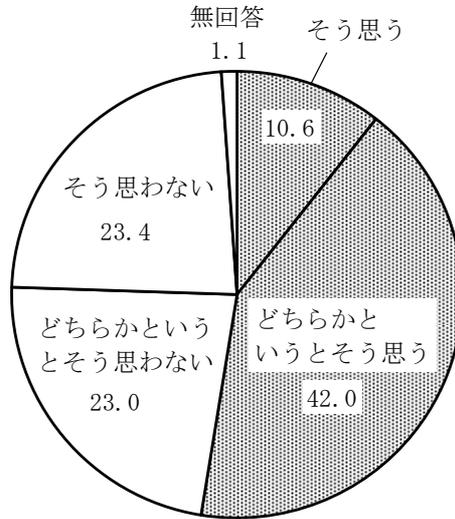
(注) 『そう思う (計)』は「そう思う」「どちらかというと思う」の合計
『そう思わない (計)』は「そう思わない」「どちらかというと思わない」の合計

(8) 家事は女性の方が向いていると思うか：家事は女性の方が向いていると思うか聞いた。

(本文 P 58～ P 61)

- ・『そう思う (計)』は 53%
- ・『そう思わない (計)』は 46%

(n=1,615)



そう思う	そう思わない
(計)	(計)
52.6	46.4

(%)

(注) 『そう思う (計)』は「そう思う」「どちらかというと思う」の合計

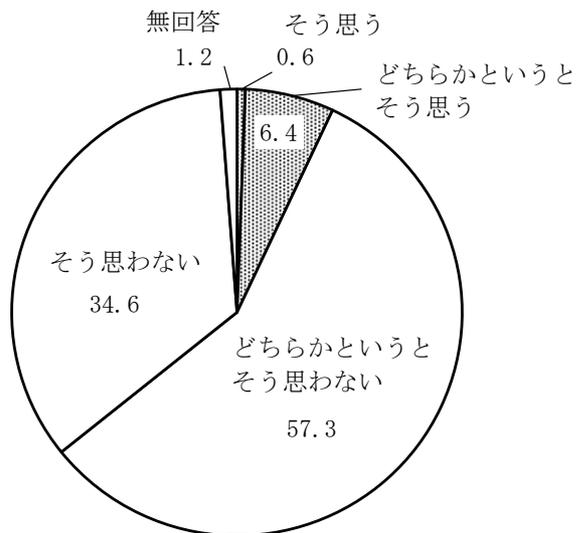
『そう思わない (計)』は「そう思わない」「どちらかというと思わない」の合計

(9) 育児は男性の方が向いていると思うか：育児は男性の方が向いていると思うか聞いた。

(本文 P 62～ P 65)

- ・『そう思う (計)』は 7%
- ・『そう思わない (計)』は 92%

(n=1,615)



そう思う	そう思わない
(計)	(計)
7.0	91.8

(%)

(注) 『そう思う (計)』は「そう思う」「どちらかというと思う」の合計

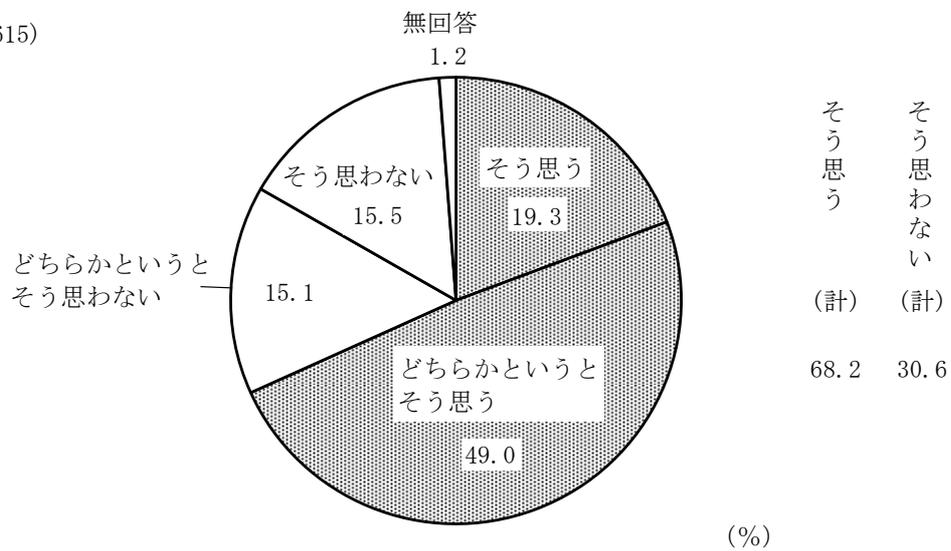
『そう思わない (計)』は「そう思わない」「どちらかというと思わない」の合計

(10) 育児は女性の方が向いていると思うか：育児は女性の方が向いていると思うか聞いた。

(本文 P 66～ P 69)

- ・『そう思う (計)』は 68%
- ・『そう思わない (計)』は 31%

(n = 1, 615)

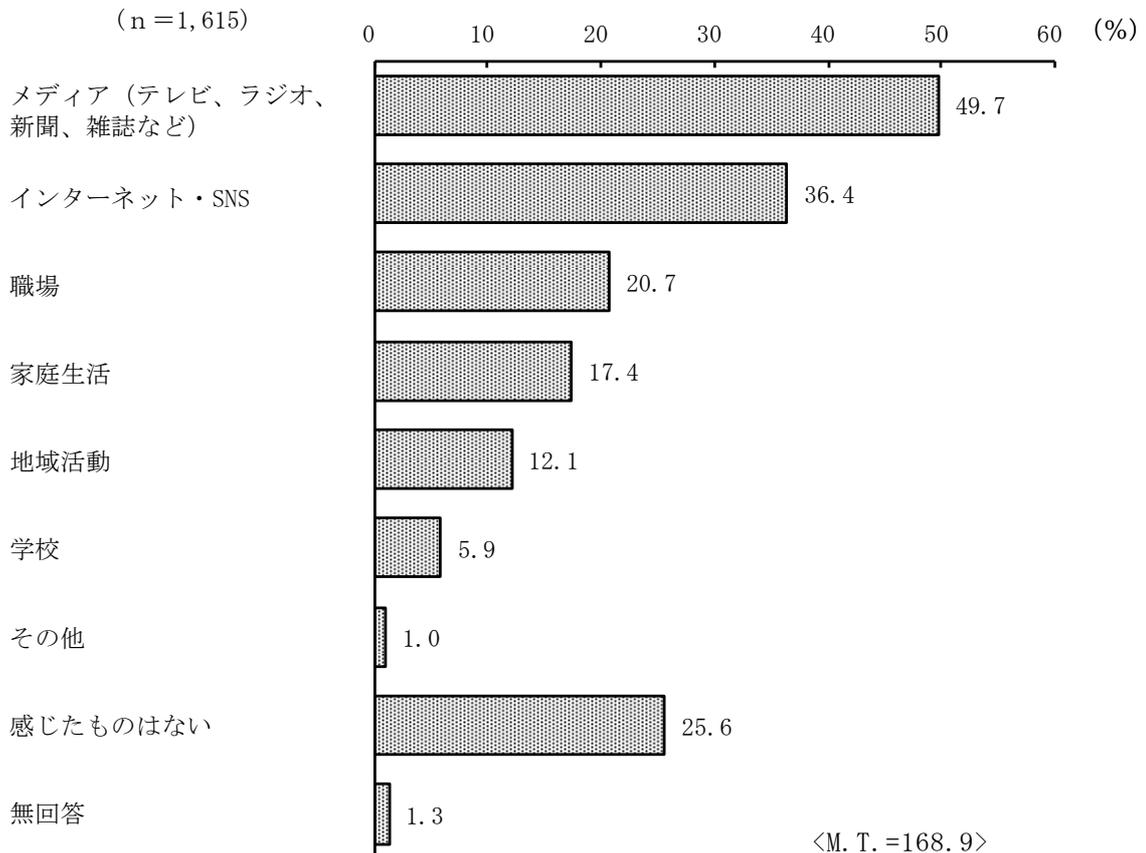


(注) 『そう思う (計)』は「そう思う」「どちらかというそう思う」の合計

『そう思わない (計)』は「そう思わない」「どちらかというそう思わない」の合計

(11) 「男らしい」「女らしい」という情報発信を感じたことがあるもの：「男らしい」「女らしい」という情報発信を感じたことがあるものを聞いた。(M. A.)
(本文 P70～P72)

- ・「メディア（テレビ、ラジオ、新聞、雑誌など）」が 50% でトップ
- ・「インターネット・SNS」36%、「職場」21%が続く

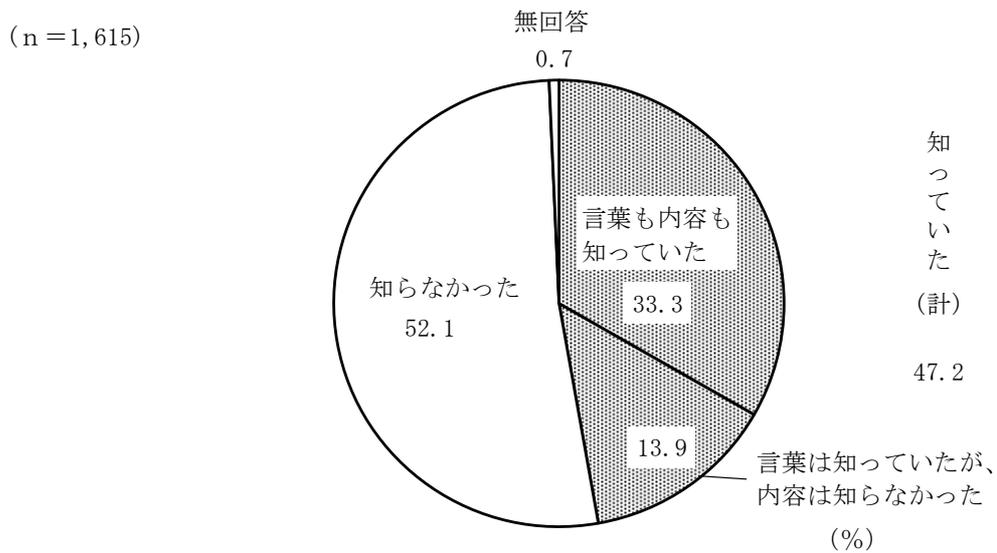


(12)「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」の認知度：「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」について知っていたか聞いた。

(本文 P73～ P76)

・『知っていた（計）』は 47%

・「知らなかった」は 52%



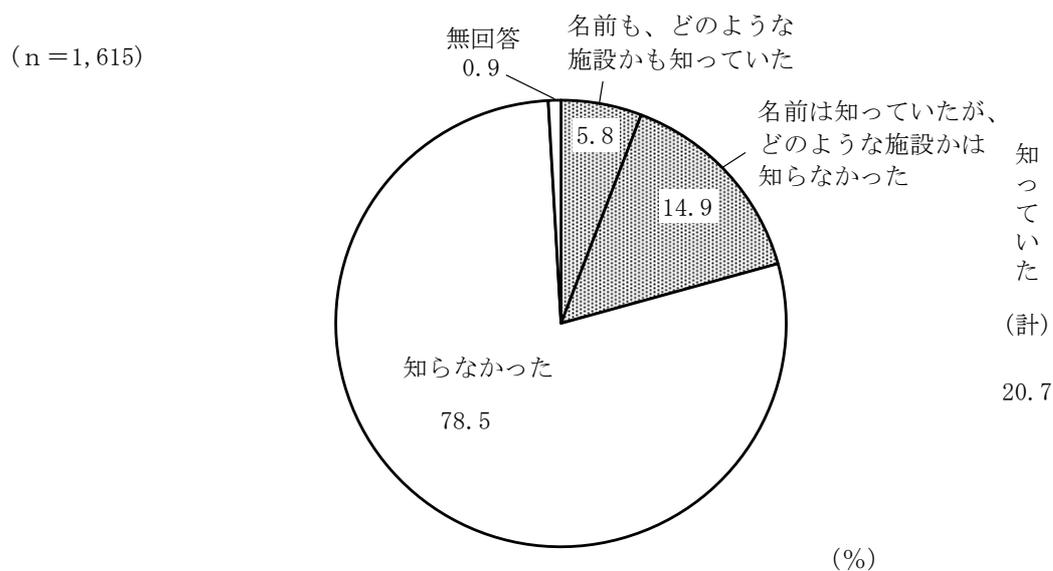
(注)『知っていた（計）』は「言葉も内容も知っていた」「言葉は知っていたが、内容は知らなかった」の合計

3 東京ウィメンズプラザ

(1) 東京ウィメンズプラザの認知度：東京都の男女平等参画センターである東京ウィメンズプラザを知っていたか聞いた。

(本文 P 77～ P 80)

- ・『知っていた (計)』は 21%
- ・「知らなかった」は 79%



(注) 『知っていた (計)』は「名前も、どのような施設かも知っていた」「名前を知っていたが、どのような施設かは知らなかった」の合計

4 社会活動・地域活動への参加

(1) 社会活動・地域活動への参加状況：職業以外の社会活動、地域活動への参加状況を聞いた。

(本文 P81～P84)

- ・「参加している」は 34%（令和 2 年より 4 ポイント増加）
- ・「参加したいができていない」は 25%（令和 2 年より 12 ポイント減少）
- ・「参加していないし、参加するつもりがない」は 40%（令和 2 年より 9 ポイント増加）

	n	参加している	参加したいが、 できていない	参加していないし、 参加するつもりがない	無回答 (%)
今回調査	(1,615)	33.7	25.1	39.6	1.5
令和2年	(1,990)	29.9	37.1	30.8	2.2
平成27年	(1,821)	35.2	30.0	34.3	0.5

(注 1) 「参加していないし、参加するつもりがない」は令和 2 年までは「参加するつもりがない」

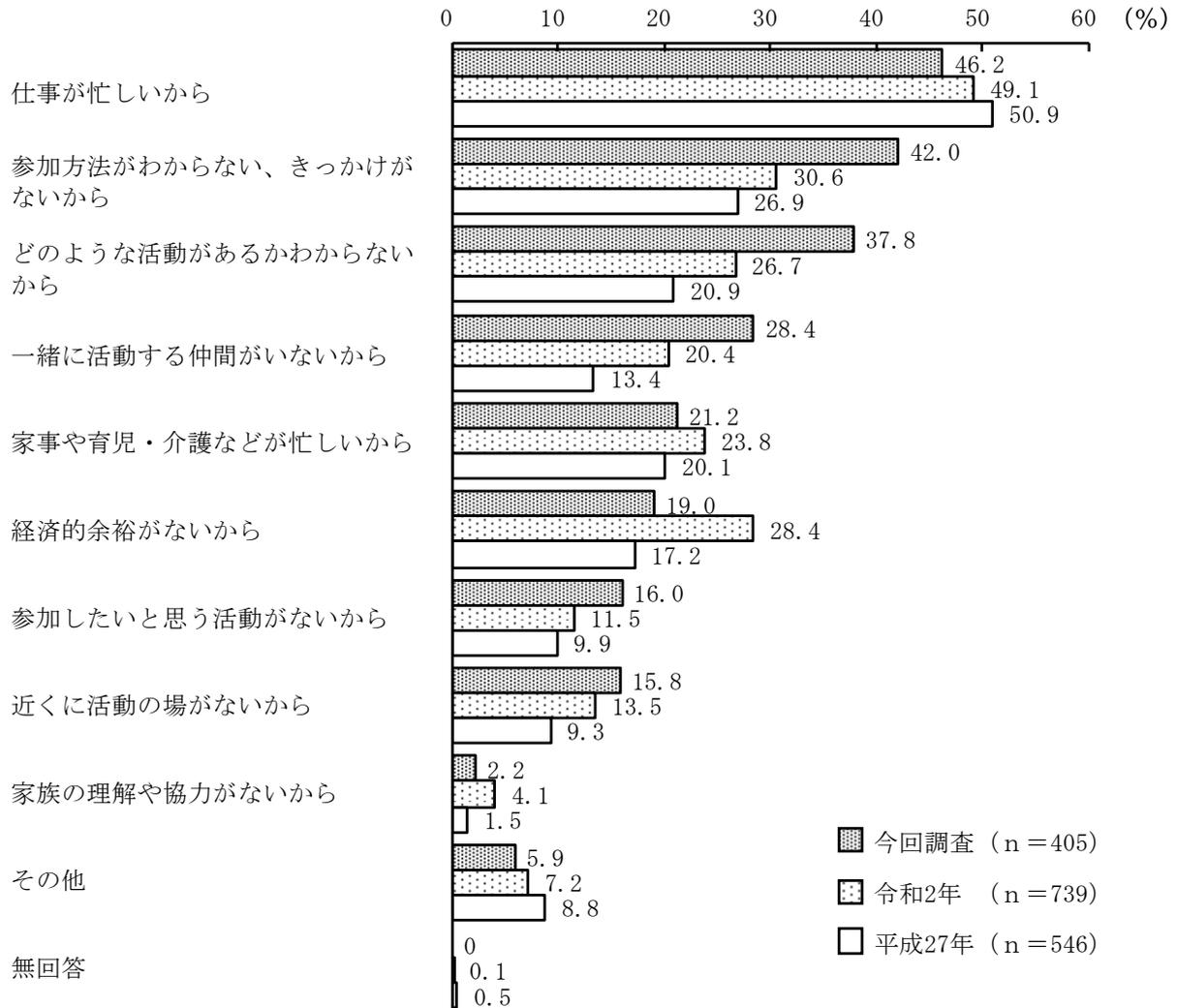
(注 2) 令和 2 年は「男女平等参画に関する世論調査（令和 2 年 11 月調査）」

平成 27 年は「男女平等参画に関する世論調査（平成 27 年 7 月調査）」

(2) 社会活動・地域活動に参加できていない理由：社会活動、地域活動に「参加したいができていない」と答えた人（405人）に、参加できていない理由を聞いた。（M. A.）

（本文P85～P88）

- ・「仕事が忙しいから」が46%でトップ（令和2年より3ポイント減少）
- ・「参加方法がわからない、きっかけがないから」42%、「どのような活動があるかわからないから」38%が続く



(注) 令和2年は「男女平等参画に関する世論調査（令和2年11月調査）」
平成27年は「男女平等参画に関する世論調査（平成27年7月調査）」

5 男女間の暴力

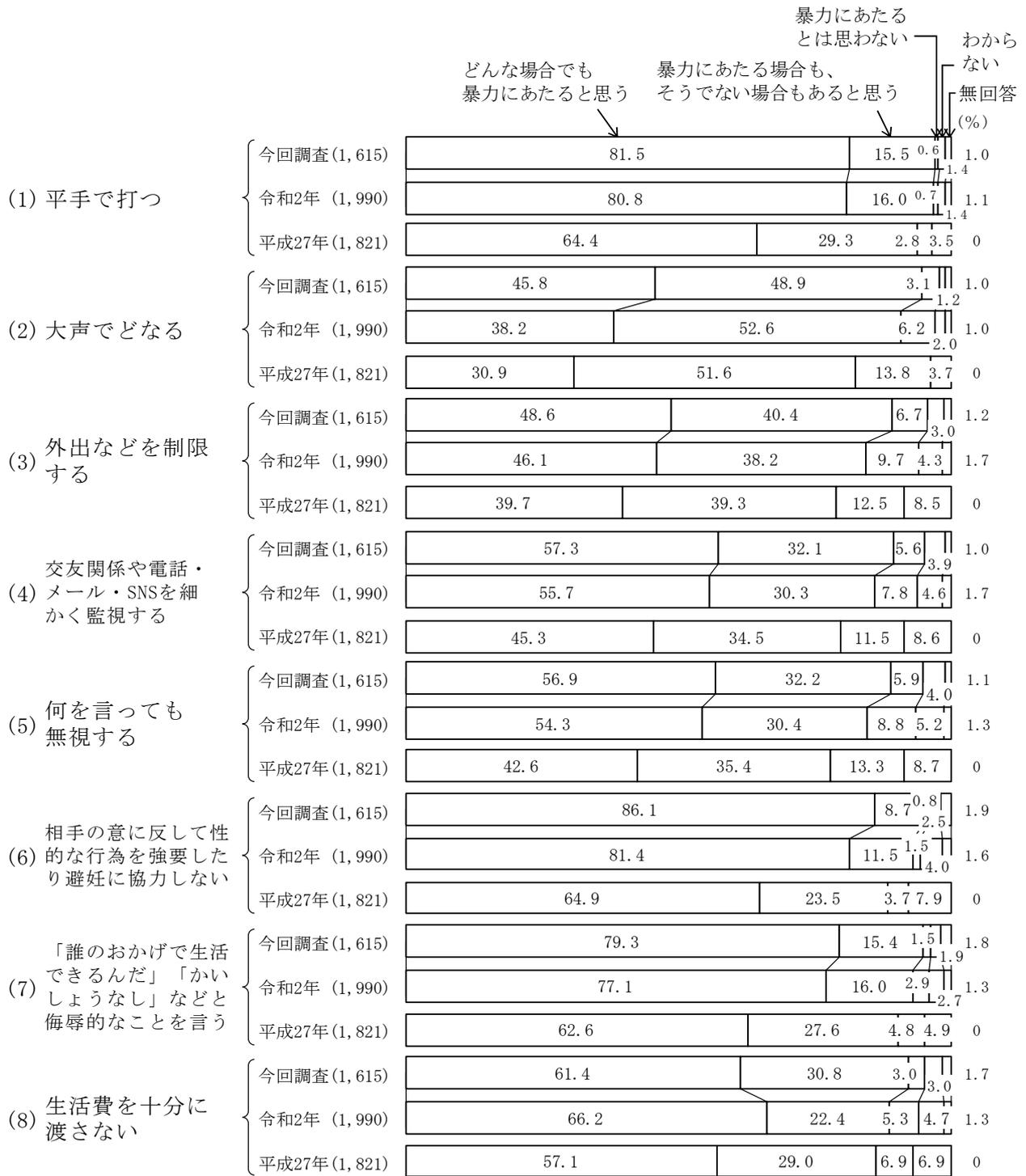
(1) 配偶者や交際相手との間における暴力の感覚：配偶者や交際相手との間における 8 つの行為について暴力にあたると思うか聞いた。

(本文 P 89～P 107)

- ・「どんな場合でも暴力にあたると思う」は「相手の意に反して性的な行為を強要したり避妊に協力しない」が 86% でトップ（令和 2 年より 5 ポイント増加）
- ・「平手で打つ」82%、「『誰のおかげで生活できるんだ』『かいしょうなし』などと侮辱的なことを言う」79% が続く

- ・「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」は「大声でどなる」が 49% でトップ（令和 2 年より 4 ポイント減少）
- ・「外出などを制限する」40%、「何を言っても無視する」と「交友関係や電話・メール・SNS を細かく監視する」32% が続く

- ・「暴力にあたるとは思わない」は「外出などを制限する」が 7% でトップ（令和 2 年より 3 ポイント減少）
- ・「何を言っても無視する」と「交友関係や電話・メール・SNS を細かく監視する」6% が続く

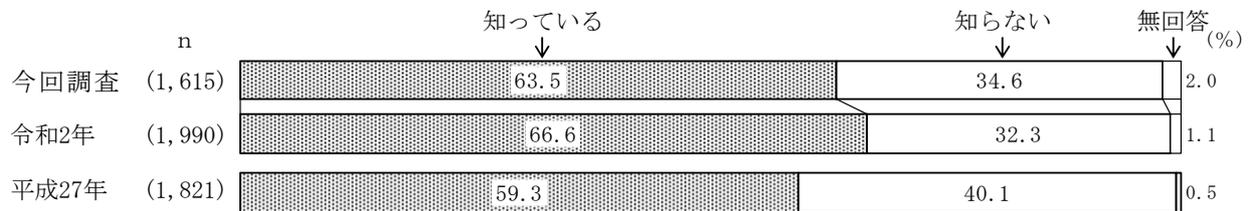


(注) 令和2年は「男女平等参画に関する世論調査（令和2年11月調査）」
 平成27年は「男女平等参画に関する世論調査（平成27年7月調査）」

(2) 暴力を受けた際の相談機関の存在：配偶者や交際相手から暴力を受けたときに、相談できる機関があることを知っているか聞いた。

(本文 P108～P110)

- ・「知っている」は 64% (令和 2 年より 3 ポイント減少)
- ・「知らない」は 35% (令和 2 年より 2 ポイント増加)

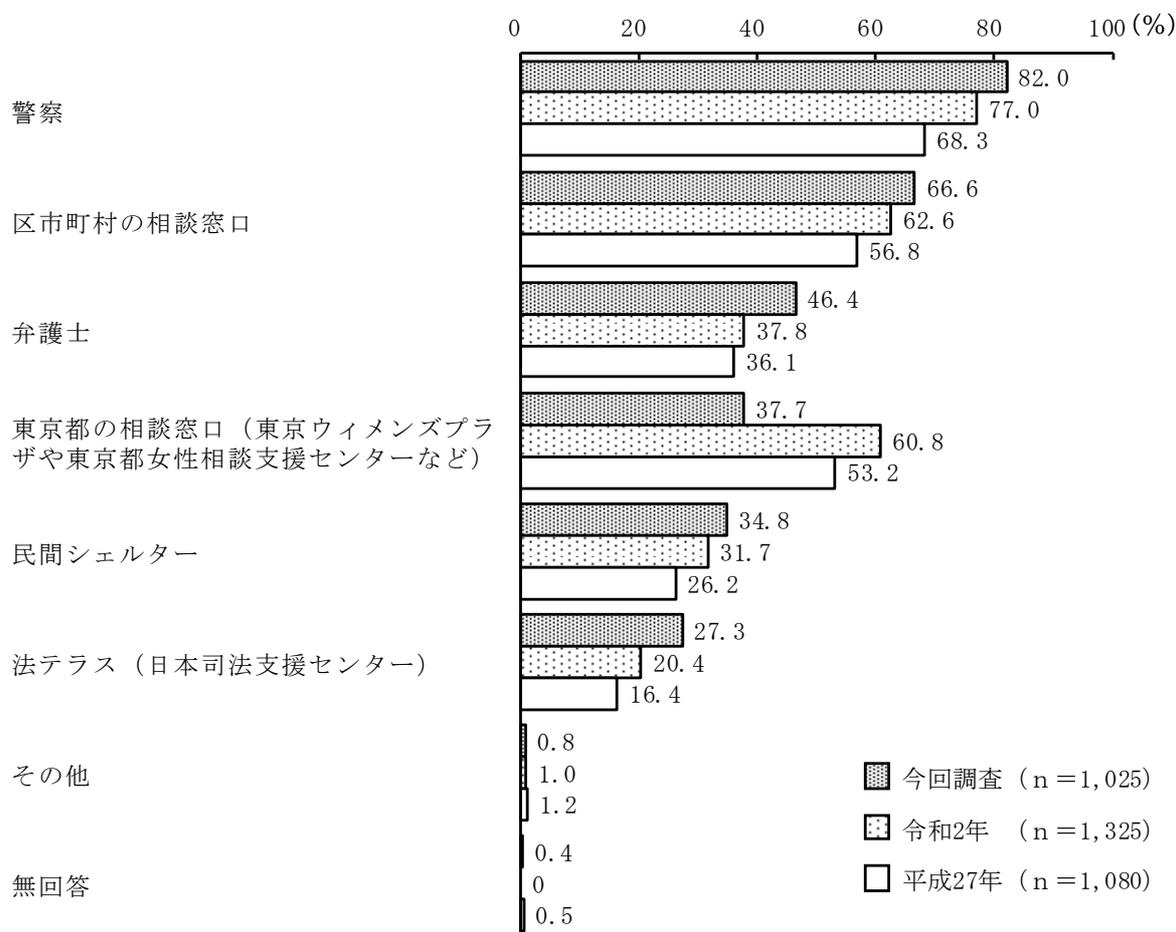


(注) 令和 2 年は「男女平等参画に関する世論調査 (令和 2 年 11 月調査)」
 平成 27 年は「男女平等参画に関する世論調査 (平成 27 年 7 月調査)」

(3) 各相談機関の認知度：相談機関を「知っている」と答えた人（1,025人）に、知っている相談機関を聞いた。（M. A.）

（本文P111～P113）

- ・「警察」が82%でトップ（令和2年より5ポイント増加）
- ・「区市町村の相談窓口」67%、「弁護士」46%が続く



(注) 令和2年は「男女平等参画に関する世論調査（令和2年11月調査）」
平成27年は「男女平等参画に関する世論調査（平成27年7月調査）」

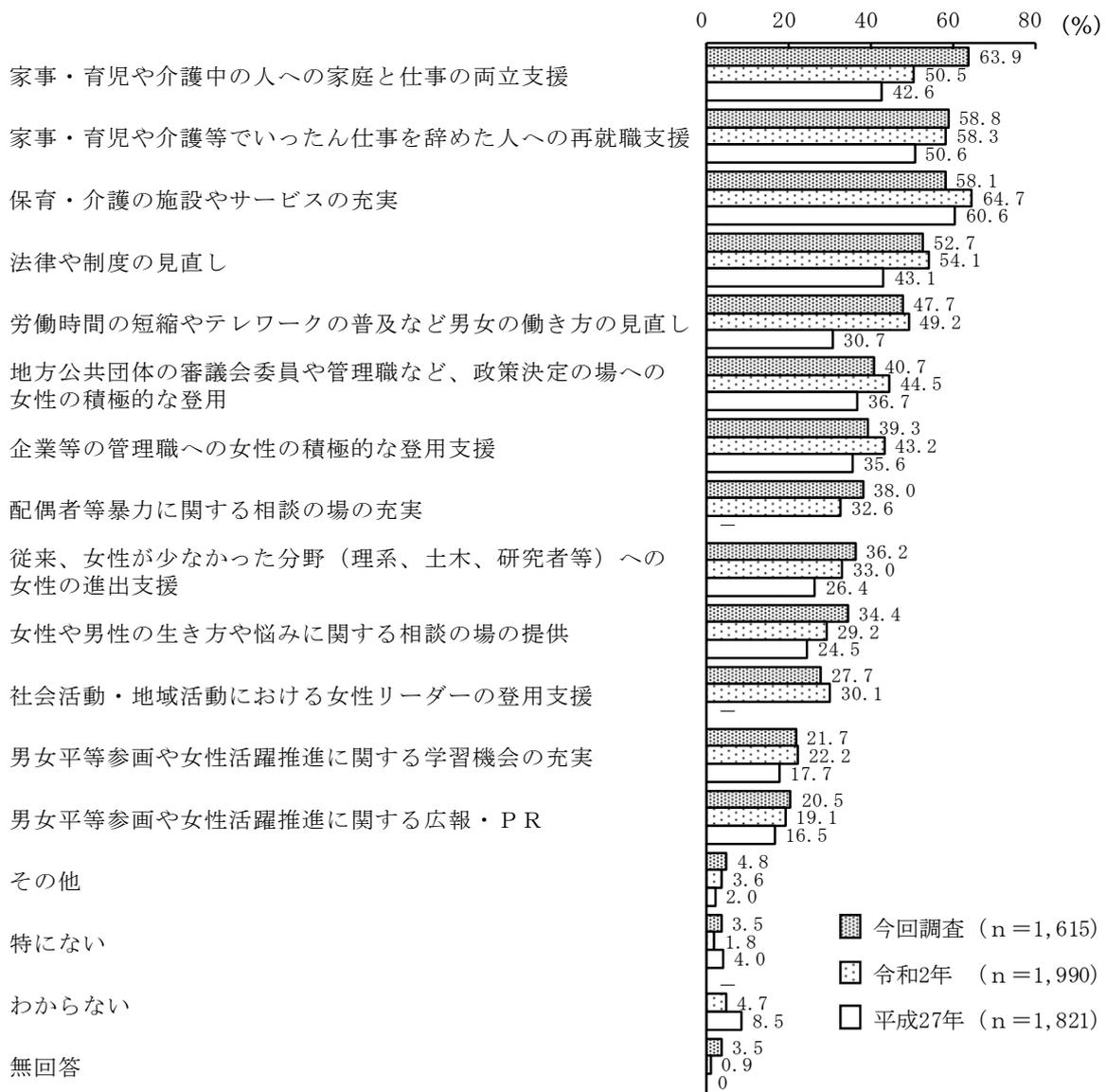
6 男女平等参画社会、女性が活躍できる都市

(1) 男女平等参画社会の形成に向けた行政への要望：「男女平等参画社会」を形成していくために、今後、行政が力を入れていくべきことを聞いた。

(M. A.)

(本文P114～P117)

- ・「家事・育児や介護中の人への家庭と仕事の両立支援」が64%でトップ（令和2年より13ポイント増加）
- ・「家事・育児や介護等でいったん仕事を辞めた人への再就職支援」59%、「保育・介護の施設やサービスの充実」58%が続く



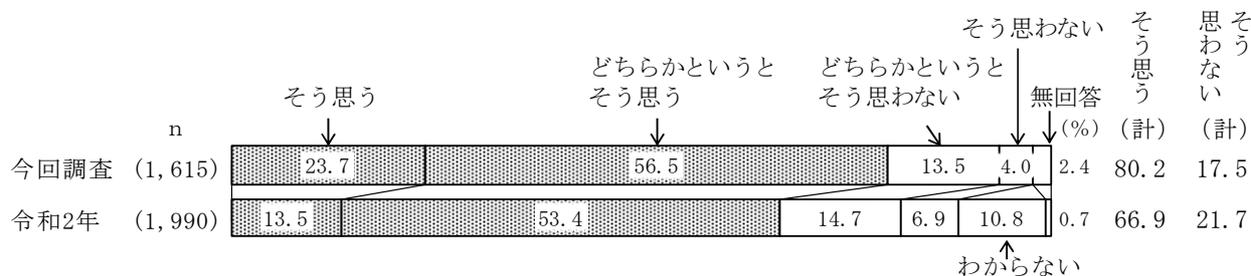
(注1) 「家事・育児や介護中の人への家庭と仕事の両立支援」は令和2年までは「育児や介護中の人への就業継続支援」、「家事・育児や介護等でいったん仕事を辞めた人への再就職支援」は令和2年までは「育児や介護等でいったん仕事を辞めた人への再就職支援」、「企業等の管理職への女性の積極的な登用支援」は平成27年調査では「民間企業・団体等の管理職への女性の積極的な登用支援」

(注2) 「配偶者等暴力に関する相談の場の充実」、「社会活動・地域活動における女性リーダーの登用支援」は令和2年からの選択肢、「わからない」は令和2年までの選択肢

(注3) 令和2年は「男女平等参画に関する世論調査（令和2年11月調査）」
平成27年は「男女平等参画に関する世論調査（平成27年7月調査）」

(2) 「東京は女性が活躍できる都市」だと思うか：「東京は女性が活躍できる都市」だと思うか聞いた。
 (本文P118～P121)

- ・『そう思う (計)』は80% (令和2年より13ポイント増加)
- ・『そう思わない (計)』は18%



- (注1) 『そう思う (計)』は「そう思う」「どちらかというそう思う」の合計
 『そう思わない (計)』は「そう思わない」「どちらかというそう思わない」の合計
- (注2) 「わからない」は令和2年までの選択肢
- (注3) 令和2年は「男女平等参画に関する世論調査 (令和2年11月調査)」